

市議会 だより

令和2年 臨時会(10/22)
12月定例会(11/26) 報告

鶴ヶ島市議会

直接お話ししたことで**議員**の方が
身近で温かいイメージに変わりました



鶴っ子土曜塾で学習を支援する
大学生にインタビュー

目次

特集 農業大学校跡地を 視察しました	2
市の考えを問う 一般質問	4
臨時会(10/22) 報告	12
臨時会(11/26) 報告	12
12月定例会報告	13
委員会審査(条例等)	14
委員会審査(補正予算)	14
◆一般会計・特別会計	
市民・団体インタビュー	16

調整池1 3.36ha

雨水を一時的に溜めて、河川への流出を調整するための調整池です。

多目的広場(野球場等)としても活用できます。



緑地保全エリア 6.66ha

環境影響評価(環境アセスメント)に基づいて、自然環境の保全エリアとして、緑地、大谷川の湧水等の豊かな自然環境が残され、市民が自然と触れ合う憩いの場として、散策路、ビオトープ等が整備されています。



特集

農業大学校跡地を

視察しました

調整池2 2.88ha

雨水を一時的に溜めて、河川への流出を調整するための調整池です。

多目的広場(サッカー場等)としても活用できます。



★ : 駐車場出入口

平成20年度に市から埼玉県に対して、首都圏中央連絡自動車道「圏央鶴ヶ島インターチェンジ」周辺地域の整備に関する要望書を提出し、農業大学校用地の活用を含めた整備計画がスタートしました。

企業誘致による産業系の土地利用とともに豊かな自然環境を保全し、産業集積と緑地・水辺の保全を両立した土地利用を図るため、埼玉県と市が連携して事業が進められてきました。

東日本大震災の影響やオオタカの営巣調査による農業大学校の移転の延期など、事業の進捗に遅れが生じたものの、産業用地の創出、緑地エリアやスポーツ活用ができる調整池などの整備が完了しました。

令和2年11月1日をもって、全ての区画の管理が市に移管されたことを受け、市議会では、11月9日に現地の整備状況を視察しました。



北側産業用地 13.61ha

(株)IH 鶴ヶ島工場が建設され、本格操業に向けて準備が行われています。



南側産業用地 10.10ha

現在は未活用の状態です。
今後、埼玉県による企業誘致が期待されます。



Q

鶴ヶ島市制施行30周年 について

かないずみ ふ き こ
金泉婦貴子 議員



A

夢と希望を次世代につなぐ新たな スタートとする

市の考えを問う 一般質問

12月14日・15日・16日の3日間行
われた一般質問の主な質問（Q）
と答弁（A）の概要を掲載します。

問 市制施行30周年への思いについて。

答 これまで本市の発展に御尽力いただいた皆様には、大変感謝している。この30周年という節目を更なる飛躍の原動力として、これまで継承された歴史や文化、自然、地域コミュニティ等を未来に引き継いでいきたい。

問 記念事業を展開する予定はあるか。また、その内容は。

答 市制施行当時に埋めたタイムカプセルの開封のほか、まちへの誇りと愛着を深めていたいただけるような取組を実施したい。

問 未来を担う子どもや若者の参加に加え、地域資源を活用した市民総出の事業とする考えは。

答 子どもたちや若い世代、子育て世代等を主役とした取組を中心に検討している。また、市民の皆さんをはじめ、ふるさと応援大使「鶴」などの鶴ヶ島に



市役所庁舎前に埋められたタイムカプセル

ゆかりのある方々や団体、企業等に御協力をいただき進めたい。

問 記念事業において留意すべき事項について。

答 感染症対策の徹底が必要である。状況により、実施方法の見直しも含めて柔軟に対応する。

◎その他の質問

一 がん教育について

二 農業大学の跡地活用について



教育支援室「アペルト」

問 東京都福生市では、不登校の生徒を支援する「不登校特例校分教室」を設置し、学習用端末を1人1台ずつ貸与し、学習ソフトを活用し、家庭でも学習できるようにしている。また、文部科学省では、自宅でのICTなどを活用した学習を出席扱いにする定義を示している。本市の不登校児童生徒への取組は。

答 欠席が続く児童・生徒に対し、家庭訪問等で家庭と連携を深めている。また、時間をずら

Q

ICT活用での不登校 児童生徒への支援

やまなか
山中 基充 議員



A

学習用端末で学習の機会を保障 していく

した登校等を認めるなどの配慮をしている。これに加えて、必要に応じて学習用端末等を貸与し、学習機会の確保とともに、様々なニーズに応え、より質の高い学習の保障に努めていく。

問 不登校児童生徒に対するICT支援員などの支援の在り方の検討は。

答 本来は、学校で教師や仲間と関わりながら、様々な経験を積むことは教育的に意義がある。しかし、ICT支援員と連携し、学習用端末を有効に活用して、学習の機会をできる限り保障していきたいと考えている。

◎その他の質問

一 現場の分かるICT支援員を

二 地域公共交通計画の策定を
三 未来を育む鶴ヶ島へ

Q

コロナ禍でも「しあわせ
共感の鶴ヶ島」を

おあた
ただよし
太田 忠芳 議員



A

第一 市民の命と生活を守ることが

問 新型コロナウイルス感染症対策の現状、望ましい拡大抑止策、今後の検討課題は。

答 行政サービス提供時の感染防止と市民自らの感染対策への支援の二つの観点から取り組んでいる。感染拡大防止には、有症状者を早期治療と早期療養につなげる施策が重要と考えている。今後も、ワクチン実用化の際に接種を速やかに実施できる

よう、関係機関との調整を図る。暮らし・営業支援策は。

答 緊急小口資金特例貸付などの貸付、住居確保給付金、ひとり親世帯への臨時特別給付金など、困窮する方に対する支援策がある。また、市独自の支援策を実施している。

問 コロナ禍による総合計画への影響、市民生活に現れた困難・困窮の実態、「しあわせ共感」



鶴ヶ島市社会福祉協議会

Q

市の台所事情と臨時
財政対策債について

すぎた やすゆき
杉田 恭之 議員



A

若年世代の転入・定住促進で
市税収入を確保する

のための施策とその財源は。
答 感染症対策や生活支援策を優先して実施し、優先度の低い事業は、先送りや中止で対応した。市民生活では、収入の減少や失業の増加などの影響が表れていると考えている。「しあわせ共感」のためには、市民の命と生活を守ることが第一と考えており、国の交付金、財政調整基金などの活用や事業の見直しで財源を捻出して対応した。

問 自主財源と依存財源について。

答 自主財源は、市税、手数料、財産収入など、市が自主的に調達できる財源である。一方、依存財源は、国庫支出金、県支出金、地方交付税など、国や県から交付される財源である。

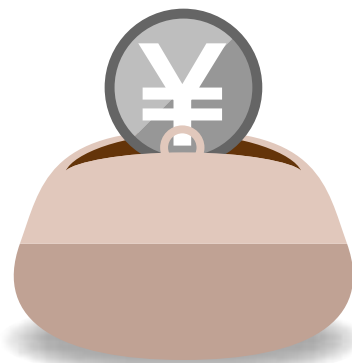
本市では、幼児教育・保育の無償化などの国の政策を受けた国庫支出金及び県支出金が増加傾向にあり、依存財源の比率が高まっている。

問 交付税の種類について。

答 地方交付税は、普通交付税と特別交付税の二つに分けられる。普通交付税は、自治体間の財政不均衡を是正するために、

基準財政収入額と基準財政需要額の差額により算出される財源不足額補填のため交付されるものである。また、特別交付税は、震災や特殊な財政事情がある場合に交付されるものである。

問 歳入増に向けての政策は。
答 自主財源の根幹である市税収入の確保が重要になる。若い世代の転入・定住の促進や企業誘致の推進を図りたい。このほか、市税以外の自主財源の確保に向けた取組を引き続き進める。また、依存財源である国庫支出金及び県支出金などの情報収集を徹底し、その確保に努める。





市民体育祭



鶴ヶ島市体育協会への活動支援について

おがわ 小川 しげる 茂 議員



体制強化のための支援及び育成に努める

問 市民体育祭の在り方は。体育協会の市民体育祭検討専門部会において、スポーツ推進審議会の提言に基づき、会場、規模、実施体制、自治会や地域支え合い協議会等の自主開催地区への支援のバランスなど、様々な視点から議論されている。

問 国が進める地域運動部活動推進事業について。

答 地域部活動の運営は、退職教員、地域のスポーツ指導者、スポーツ推進委員、生徒の保護者等の参画や協力を得て、総合型地域スポーツクラブ、民間のスポーツクラブ、芸術文化団体等が担うことが想定されている。情報収集、研究の段階であるが、国や県の動向を注視し、学校と地域、特に体育協会やスポ

ーツ団体等と協議していくことが必要と考えている。

問 自主財源確保への支援は。

答 会費や事業収益のほか、国や地方公共団体、各種公的機関の助成金などの積極的な活用も有効と考えている。今後も情報提供等を行い、自主財源確保の支援をしていく。

問 更なる期待と今後の役割は。

答 これまでの事業運営により培った企画力や実行力を活用して、市のスポーツ振興に関する公共的な役割を期待している。



企業誘致の現状と今後について

うちの 内野 よしひろ 嘉広 議員



多様な働き方が実現できるまちづくりを推進していく

問 南側産業用地への企業誘致の進捗について。

答 埼玉県は、先端産業や次世代産業などの成長産業の集積を図りたいと考えている。今後、新型コロナウイルス感染症による企業の進出意欲への影響等を見極めながら、対応について検討を進めていると聞いている。

問 先端産業実証フィールドの進捗について。

答 県では、企業等のニーズ調査などを実施しながら検討が進められている。今後、全体の検討内容が確定した後に関係地権者への説明会を行い、整備を進めていく予定と聞いている。

問 市街化調整区域における都



北側産業用地に立地した企業

市計画法第34条第12号による企業誘致について。

答 市内の市街化区域内は、新たに企業が立地できる土地がない。一方で、圏央鶴ヶ島IC周辺の都市計画道路等の整備が進む中、周辺地域における企業の立地ニーズの高まりが想定される。この機を捉えて企業の立地を促進すべく、都市計画法第34条第12号を活用することを判断した。なお、本制度を活用するに当たっては、都市計画法における市街化調整区域の規制の趣旨からそれることのないよう、十分留意していく。

Q

児童虐待SOSを
見逃さないために

おのひろこ
大野 洋子 議員



A

関係機関の日常的な連携や子ども
家庭総合支援拠点で対応する

問 2019年度に全国の児童相談所に対応した児童虐待の件数が19万件を超え、過去最多だったことが分かった。さらに、新型コロナウイルスのまん延による生活不安から子どもたちへの虐待リスクが懸念されている。昨年、いわゆる児童虐待防止法に体罰を加えてはならないことが盛り込まれたが、いまだ、ある程度の体罰を容認している

答 人が多いことが推測される。本市の虐待への対策・対応の現状と虐待を生まないための取組は、児童虐待の通告は、昨年6月から11月末までの期間で月平均23件を超える高い水準であり、コロナ禍による家庭内の状況悪化が考えられる。今年度は、体罰によらない子育ての啓発などを目的に、子育て関連施設等へパンフレットを



Q

少子化対策について

こばやし
小林ひとみ 議員



A

多子世帯への出産お祝い事業について導入を検討する

配布した。また、令和3年度末までに、子どもとその家庭、妊産婦等を対象として、地域の実情の把握、相談対応、調査、継続的支援などを行う、子ども家庭総合支援拠点を開設する。今後も地域資源の活用や子育て家庭との日常的な関わりの中で、児童虐待を生まない、重篤化させない取組を進める。

◎その他の質問 子どもたちに生涯の食習慣を伝える



問 本市の出生率は。

答 平成30年の合計特殊出生率は1・16で、埼玉県や全国を下回っている。

問 若者の定住化にもつながる結婚新生活支援事業の導入は。

答 同事業は、対象世帯を限定し、1世帯当たり上限30万円を補助する制度で、国と自治体が半分ずつ負担する。財政負担等を考慮し、効果的な取組を検討していく。

問 出産祝い金の導入は。

答 県内では複数の自治体で出産時にお祝い金やクーポン券、おむつなどの育児用品を渡す事業を行っている。本市でも多子世帯への出産お祝い事業の導入

を検討している。

問 多胎児家庭への支援は。

答 保健センターでは、早期から育児情報の提供を行い、電話や訪問による支援を行っている。また、多胎児の親同士の交流の場も設けている。

問 男性職員の育児休業の取得状況は。

答 今年度は、11月末日現在において取得者はいない。本市においても、国の取組を参考に、男性職員が育児休業を取得しやすい環境づくりを進める。

◎その他の質問 空き家対策について



補聴器購入に助成を

いしづか せつこ
石塚 節子 議員



助成の予定はないが、聴力低下への対策が必要



問 近年、難聴が認知症の危険因子であることが指摘され、補聴器で難聴を補うことで、日常生活を活性化し、認知症を予防することが推奨されている。加齢性難聴による聴力の衰えにより、日常生活のコミュニケーションが困難になるなど、生活の質の低下につながり、交通事故、転倒、鬱、認知症などが増える。これらの予防には、言語生活を豊かにする言語刺激が重要である。補聴器の使用によって、社会参加がひろがり、高齢になっても、生活の質を落とさず心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防、健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制につながると考える。フレイル予防につながる補聴器購入への

助成については、市の考えは。
答 現在、補聴器購入に助成の予定はないが、聴力低下は、認知症の要因になると認識している。フレイル予防の観点からも対策が必要である。第6次鶴ヶ島市総合計画の重点戦略として、いつまでも健康でいられるまちづくりを掲げ、地域と連携した健康づくりや介護、フレイル予防、外出したくなる環境の整備や健康づくりの担い手の育成等、多分野にわたる取組を連携させながら一体的に推進していく。



コロナ禍における街の魅力の発信

まつお たかひこ
松尾 孝彦 議員



地域資源を活用し、住んでもらえるようにPRする

問 外出自粛による高齢者への影響について。

答 人や地域とのつながりが減り、動かない生活が続くことにより高齢者の心身機能の低下が心配される。このため市では、独り暮らしの高齢者の自宅を生活支援員が訪問し、必要な支援につなげていくための取組を行

っている。今後も感染予防に留意しながら、高齢者の健康の保持増進に努めた取組を進める。

問 魅力の発信と市制施行30周年に向けての取組について。

答 コロナ禍においても変わらない本市の強みを市内外へ発信し続けることが重要である。市内に向けては、まちへの誇

りと愛着を深め、これからも住み続けたいまちとして認識していただく機会にしたい。特に子どもたちや若い世代に向けた、30周年記念事業を検討している。市外に向けては、これまでも脚折雨乞やふるさと納税、つるゴン、ふるさと応援大使「鶴」などを生かし、情報発信に努めてきた。引き続き地域資源を活用し、様々な機会を捉えながら本市を知り、来てもらい、住んでもらえるようPRを継続する。

◎その他の質問 災害時のトイレ対策について



市役所朝市

Q スマート自治体実現のために

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A 業務のICT化を進めていく

問 押印廃止の状況は。

答 押印を要する申請書等が1263件で、そのうち廃止できるものが約半数あった。残りの半数についても随時見直し、今年度中に一定程度の押印を廃止する方向で進めていきたい。

問 庁内には、各課でしか利用できないデータもあると思われる。これらをICT化し、庁内全体での情報共有を。

答 昨年度から、ICTを活用した業務改善を進めている。今後も全庁的に情報共有できるよう、デジタル化を進めていく。

問 職員のデータ活用能力向上の取組は。

答 スキル向上のための研修が必要だと考えている。また、各課に配置している、ICT化を推進する職員を通じて、今後情報等の周知を図っていく。



Q 市長の「まちづくり論」

はせがわ きよし
長谷川 清 議員



A 安定した市政を進める

問 マイナンバーカードには、「コンビニで各種証明書を取得できる」、「令和3年3月から健康保険証として使える」等のメリットがある。利便性の周知を。

答 現在、国がキャンペーン等を実施し、普及を促進している。今後は、市でも国と併せて利便性を市民にPRしていく。

◎その他の質問
一 公園整備の推進について
二 下新田第三につるワゴンを



問 市長の市政経営論は。

答 市政経営で最も大切にしていくことは、安定した市政を進めることである。

問 市長の行財政改革論は。

答 全職員が、財源の確保と効果的、効率的な事業執行を徹底することが基本である。

問 市長の人材育成論は。

答 人材育成は、全ての経営資源を最大限に生かすために欠かすことのできない視点である。

問 市長の議会対策論は。

答 相互にけん制、協力し合うことにより、公正な行政を確保し、市民の意思を尊重した、より良い市政の実現を目指すことができるものと考えている。

問 市長は、何を重要課題と考えて、それをどのように解決していこうとしているのか。市長の具体的な政策を聞きたい。

答 市民がコロナ禍にあっても、安定して鶴ヶ島に住んでいられる。そういった状況をつくっていくことが大事であり、これこそが私が考えている安定した市政運営である。

多くの課題がある中で、何か一つのことだけに取り組むことは、市政運営において良くないと考えている。全てのことを円滑に、少しでも大きく進めていくことが私の仕事である。



「鶴ヶ島市のこれからの教育」について

もちだ 持田 やすあき 靖明 議員



学校・家庭・地域が目標を共有し ともに作り上げていきたい

問 GIGAスクール構想によって何が変わるのか。

答 本市が推進している学び合い学習の中でタブレットを有効に活用していく。これからの時代は、基礎的な知識や技能だけではなく、学びに向かう力や人間性も含めた学力の育成が求められている。

問 生徒数の減少に伴う今後の部活動の在り方について。

答 今後も合同部活動制度や部活動指導員制度を有効に活用する。部活動指導員には、部活動の位置付けや教育的意義について研修を行い、各学校の指導の下で適正に部活動を運営していただくことになる。

問 小中一貫教育の現状と成果について。

答 南小学校・南中学校では、

9年間を見据えて早い段階から学び合い学習の研究に取り組んでいる。また、先進的な具体例を市内で共有し、小中一貫教育のより一層の充実を図っている。

問 「社会に開かれた教育課程」とは。

答 学校応援団や学校運営協議会の設置により、学校・家庭・地域が協力して子どもを育てていけるように努める。親や教職員以外の地域の様々な方と触れ合う経験は重要である。



児童・生徒の体力 向上について

おおそねひであき 大曾根英明 議員



A 全ての教育活動を通して 体力向上を推進する

問 児童・生徒の体力、運動能力の現状について。

答 埼玉県教育委員会では、体力テストの上位3段階の割合の目標値を小学校で80％、中学校で85％と定めており、本市の過去3年間の達成率の平均は、小学校で83・1％、中学校で81・8％であった。

問 指導基準、運動環境について。

答 学校の体育授業は、学習指導要領の目標と内容に基づいて行なっている。

この度の学習指導要領の改訂で重要視されていることは、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する基礎を培うこと

であり、新体力テストなどの考察や改善のポイントを押さえた授業の充実に努めている。

問 今後の方向性について。

答 第6次鶴ヶ島市総合計画で掲げたとおり、生涯にわたり健康で豊かな生活を送ることができるよう、健やかな体の育成を目指す。そのために、全ての児童・生徒が、できた、分かった、もっとやりたいという喜びを味わい、進んで運動する授業のほか、全ての教育活動を通じて体力向上を推進する。

◎その他の質問 主権者教育について



Q 鶴ヶ島市の農業について

ふじわら
藤原 建志 議員



A 現状は厳しいが、農業、農地を守っていくために協力していく

問 農地面積の現状は。

答 令和2年1月1日現在、418・6㍍である。平成30年と比較し、7・5㍍減少している。

問 新規就農者の現状は。

答 現在農業経営に従事しているのは11人である。課題は、自身の農地がない、初期設備投資に費用が掛かる、親の技術指導等のサポートがないことである。就農後の数年は、経営的に大変

厳しい状況にある。

問 有機栽培に取り組む農業者への支援は。

答 25年につるがしまゆうきの会が発足している。これまで保育園等に同会を紹介するなど、出荷や販売につながる支援を行ってきた。また、農産物の信頼度を高めるためのJAS認証や研修の情報提供なども行っている。



鶴ヶ島市農業交流センター

Q 鶴ヶ島市財政の今後の予想について

たかはし けんじ
高橋 剣二 議員



A 持続可能な財政運営を推進していく

問 農産物のブランド化への支援は。

答 里芋やネギ、入間ゴボウを市の推奨農産物としている。鶴ヶ島産野菜シールの印刷、配布や市役所朝市の開催などによるPR活動などを実施していく。

問 市民農園への支援は。

答 市民農園開設支援制度を設けている。年間10万円を限度として、1平方メートルあたり50円の補助金を交付している。



市役所庁舎

問 次年度以降の市税収入の見込みは。

答 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による個人消費の減少など、経済状況の悪化に伴う市税の大幅な減収は避けられないと考えている。

問 地方交付税や国県支出金の見込みは。

答 地方交付税は、4年度以降の国の方針が示されていないため、不透明な状況である。国県支出金は、社会保障分野が増加し、建設事業関係は状況により増減すると見込んでいる。

問 現在の市債残高と今後の推移について。

答 元年度末時点の普通会計ベ

ースで約175億円である。今後、5年程度は同規模で推移するものと見込んでいる。

問 市債残高のキャパシティは。

答 早期健全化基準を基に試算した場合、約600億円となる。

問 大規模事業の執行の見直しについて。

答 財政フレームを指標として、毎年度必要に応じて見直す。

問 今後の財政運営の在り方について。

答 第6次鶴ヶ島市総合計画とも歩調を合わせ、財源の確保や将来負担の軽減に取り組み、持続可能な財政運営を推進する。

臨時会(10/22)

令和2年第3回鶴ヶ島市議会臨時会が10月22日(木)に開催され、市長提出議案1件を審議しました。

令和2年第3回鶴ヶ島市議会臨時会審議結果

○…賛成 ×…反対・賛成せず

議案番号	議案の名称	議員名等	審議結果	新政クラブ					大空・つるがしま未来			公明党		日本共産党		賛成	反対・賛成せず				
				持田 靖明	小川 茂	杉田 恭之	高橋 剣二	金泉 婦貴子	藤原 建志	出雲 敏太郎	内野 嘉広	近藤 英基	大曾 根英明	漆畑 和司	山中 基充			松尾 孝彦	小林 ひとみ	太田 忠芳	石塚 節子
議案第71号	令和2年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第8号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

臨時会(11/26)

令和2年第4回鶴ヶ島市議会臨時会が11月26日(木)に開催され、市長提出議案4件を審議しました。

令和2年第4回鶴ヶ島市議会臨時会審議結果

○…賛成 ×…反対・賛成せず

議案 番号	議案の名称	議員名等	審議 結果	新政クラブ					大空・つるがしま未来			公明党		日本共産党		賛成	反対・賛成せず				
				持田 靖明	小川 茂	杉田 恭之	高橋 剣二	金泉 婦貴子	藤原 建志	出雲 敏太郎	内野 嘉広	近藤 英基	大曾 根英明	漆畑 和司	山中 基充			松尾 孝彦	小林 ひとみ	太田 忠芳	石塚 節子
議 案 第72号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 について		原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第73号	鶴ヶ島市議会議員の議員報酬等に関する条例の 一部を改正する条例について		原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第74号	市長及び副市長の給与等に関する条例及び教育 委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改 正する条例について		原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第75号	令和2年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第9号) について		原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

贈らない 求めない 受け取らない

選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内で寄附を行うことは、特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。御注意を！

禁止されている寄附の例

- ・ 祭りへの寄附や差し入れ
- ・ 運動会やスポーツ大会への飲食物等の差し入れ
- ・ 自治会等の集会や旅行等の催し物への寄附や飲食物の差し入れ
- ・ 冠婚葬祭における贈答 など



議会インターネット配信の画面

本会議と常任委員会の様子をインターネットで生中継しています。ぜひ、御覧ください。



ネットで生中継

感染症予防対策事業などの補正予算と
証明書等をコンビニ等で交付するための条例改正を可決！



令和2年第4回定例会の日程（会期17日間）		
12/1	本会議	開会 議案第76号～第88号を上程
3	本会議	議案第78号及び第81号を採決 議案第76号、第77号、第79号、第80号及び第82号～第88号を委員会付託
7	総務産業建設常任委員会 文教厚生常任委員会	付託議案審査
8	予算決算常任委員会	付託議案審査
14・15・16	本会議	一般質問
17	本会議	議案第76号、第77号、第79号、第80号及び第82号～第88号を採決 議案第89号を上程及び採決 閉会

令和2年第4回鶴ヶ島市議会定例会が12月1日（火）から12月17日（木）までの17日間の会期で開催されました。
本定例会では、市長提出議案14件を審議しました。
また、一般質問を3日間にわたり行い、16人の議員が登壇しました。

令和2年第4回鶴ヶ島市議会定例会審議結果 ○…賛成 ×…反対・賛成せず

議案番号	議案の名称	議員名等	審議結果	新政クラブ										大空・つるがしま未来		公明党		日本共産党		長谷川		賛成	反対・賛成せず
				持田 靖明	小川 茂	杉田 恭之	高橋 剣二	金泉 婦貴子	藤原 建志	出雲 敏太郎	内野 嘉広	近藤 英基	大曾 根英明	漆畑 和司	山中 基充	松尾 孝彦	小林 ひとみ	太田 忠芳	石塚 節子	大野 洋子	長谷川 清		
議案第76号	鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第77号	鶴ヶ島市印鑑条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第78号	鶴ヶ島市介護保険条例及び鶴ヶ島市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第79号	鶴ヶ島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第80号	鶴ヶ島市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	○	14	3
議案第81号	広域静苑組合の規約の変更について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第82号	令和2年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第10号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第83号	令和2年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第84号	令和2年度鶴ヶ島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第85号	令和2年度鶴ヶ島市介護保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第86号	字の区域を廃止することについて		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第87号	市道の路線の認定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第88号	市道の路線の廃止について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第89号	令和2年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第11号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

委員会審査

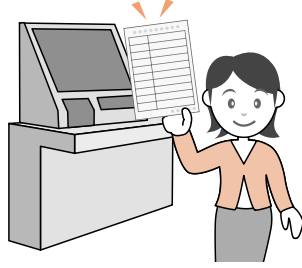
条例等

議案第76号
鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について

世帯全員の住民票の写しをコンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機で交付する際の手数料を規定するものです。

Q 証明書を発行できる場所と時間は。

A 市民課長 多機能端末機が設置されている全国のコンビニエンスストアやドラッグストア等において、午前6時30分から午後11時まで発行できる。



議案第77号
鶴ヶ島市印鑑条例の一部を改正する条例について

コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機で印鑑登録証明書の交付を受けるための規定を追加するものです。

議案第79号
鶴ヶ島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の一部改正に伴い、居宅介護支援事業所における管理者要件の経過措置期間の延長等をするものです。

Q 6年間延長の経過措置期間中に主任介護支援専門員の資格が取れない場合の対応は。

A 介護保険課長 事業者の責任として、有資格者を採用等で確保する必要がある。



議案第80号
鶴ヶ島市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例について

都市計画法第34条第12号に規定する開発行為について、市長が予定建築物の用途を限り指定した土地の区域において、当該指定に適合した建築物を建築する目的で行うものを追加等するものです。

Q 規定追加の経過と理由は。

A 都市計画課長 昨年度に埼玉県による農業大学校跡地

への企業立地と周辺道路等のインフラ整備の予定が見えてきたことに伴い、市として産業適地の調査を行った。整備の進捗に併せて、効果的な企業立地を早期に実現するために追加する。

Q 農業の振興、緑地の保全などへの影響は。

A 都市計画課長 指定運用方針で市の各種計画との整合を図る旨を定め、農業政策との整合を図る。

議案第86号
字の区域を廃止することについて

圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側土地区画整理事業の施行に伴い、字の区域を廃止するものです。

議案第87号
市道の路線の認定について

道路法第8条第2項の規定によるものです。

議案第88号
市道の路線の廃止について

道路法第10条第3項の規定において準用する同法第8条第2項の規定によるものです。

Q 廃止に至る経緯は。

A 道路建設課長 近隣地権者から払下げの要望書が提出されたことを受け、現地調査の結果や将来の整備計画の有無などを総合的に判断した。



令和2年度の一般会計補正予算(第10号)及び特別会計補正予算が3件可決されました。

一般会計(第10号)

感染症予防対策事業

Q 事業の対象となる65歳以上の方のインフルエンザワクチンの接種率の目標は。

A 保健センター所長 該当者約2万人のうち、60割の方に接種していただきたい。



小学校体育館防災環境整備事業

中学校体育館防災環境整備事業

Q 国の緊急災害・減災事業債を活用して各小・中学校体育館に通信環境等を整備する事業であるが、その内容は。

A 学校教育課長 災害時に避難者が誰でも利用できる通

信環境を整備する。また、平常時は学校教育で利用する。



中学校修学旅行キャンセル料等支援事業

Q 修学旅行は実施の予定だが、キャンセルの場合の対応は。

A 学校教育課長 本事業費で保護者の負担軽減を図る。

国民健康保険特別会計

Q 税制改正による影響は。

A 保険年金課長 低所得世帯に対する、いわゆる7割、5割、2割軽減の算定基準を見直すことで、これまでと同様の水準で軽減の判定が行われる。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金を減額補正するものです。

介護保険特別会計

介護保険システム改修事業に要する経費を補正するものです。



令和2年に開催した議会の
状況を報告します

議会開催状況

会議	会期 (日)	本会議 日数 (日)	委員会日数(日)				傍聴 者数 (人)
			総産	文教	予算	特別	
第1回定例会	23	4	1	1	2	3	0
第1回臨時会	1	1	0	0	0	—	0
第2回定例会	21	7	1	1	1	—	10
第2回臨時会	1	1	0	0	0	—	0
第3回定例会	23	6	1	1	3	—	17
第3回臨時会	1	1	0	0	0	—	0
第4回臨時会	1	1	0	0	0	—	0
第4回定例会	17	6	1	1	1	—	29
合 計	88	27	4	4	7	3	56
会 期 外			0	0	0	0	0

※総産…総務産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会
予算…予算決算常任委員会 特別…前期基本計画審査特別委員会(令和
2年3月16日まで)

議員提出付議事件 (件)

区分	議決態様別					
	可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	計
条例	1	0	0	0	0	1
規則	1	0	0	0	0	1
意見書	1	0	0	0	0	1
決議	0	0	0	0	0	0
その他	6	0	0	0	0	6
計	9	0	0	0	0	9

市長提出付議事件 (件)

付議事件別		議決態様別			
区分		可決	否決	継続審議	計
自治法第96条 付議事件	条例	25	0	0	25
	予算	31	0	0	31
	決算	6	0	0	6
	その他	22	0	0	22
自治法第179条(専決処分)		7	0	0	7
計		91	0	0	91

※「可決」には、認定、同意、承認等の議決を含みます。

次回定例会のお知らせ

次回の令和3年第1回定例会は、2月24日(水)に開会の予定です。

議会の日程は、開会日の5～2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階の議会情報コーナーなどで御案内します。

ホームページはこちらから

<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/dir000016.html>



鶴ヶ島市議会

検 索

議会報告会2020について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて延期していた「議会報告会2020」の開催に代えて、2020年の市議会の活動内容を紹介する動画を作成し、議会のホームページに公開いたしました。どうぞ御覧ください。



鶴ヶ島ふるさと応援大使「鶴」に 感謝状を贈呈しました！

鶴ヶ島ふるさと応援大使として全国に本市の名を広め、活動を通じて多くの人に夢と希望・元気を与えていることや今後の更なる活躍が市民の活力になることを願い、市議会としてエールを送るとともに感謝状を贈呈しました。



市議会杯少年サッカー大会が 中止となりました

例年、運動公園で開催していた小学校5年生以下の選手が参加する市議会杯少年サッカー大会は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて本年度は中止となりました。



大学生

×

市議会

チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に

市内小・中学校の臨時休業により、学習に不安を感じている児童・生徒の学習支援を行う鶴つ子土曜塾。
支援を担っている大学生と学習指導員の皆さんにインタビューを行いました。



鶴つ子土曜塾は、新型コロナウイルスの影響で市内小・中学校の臨時休業が続き、学習に不安を感じている児童・生徒に対して不安に寄り添いながら、基礎学力の定着・学習意欲の向上を図るため、土曜日に各小・中学校において実施されています。
また、コロナ禍の影響を受けている地域の大学生を支援員として雇用することで、大学生の生活支援と将来の職業選択に役立ててもらうことを期待した事業となっています。
(上の写真：大学生の城さん・中村さん・吉田さん・岩さん、学習指導員の須山さん)

●コロナ禍での学生生活

オンライン授業が中心で、4月に入学してから現在（令和2年10月31日）までの間に3日しか登校していません。帰省して受講する友人もいます。

4年生の友人が就職活動をするのができず、困っています。

●応募のきっかけ

教員を目指していますが、コロナ禍で教育実習を受け入れられなかったことが難しくなり、子どもに勉強を教える機会が得られると思い、応募しました。

●感想・やりがいについて

楽しかったと言ってくれる児童・生徒が多いです。分からないことが重なり勉強が嫌になっただけですが、分かるようになれば、前向きになれると思います。

できる・分かることで自分に自信を持つことができ、楽しく勉強できているようです。

●投票に行っています

18歳から選挙権があるため、投票に行っています。インターネットで政策を調べたり、ポスターなどの顔写真を見て、雰囲気や人となりを想像して投票しました。



御協力いただいた皆様とインタビューを行った議会報編集委員会

●市議会議員のイメージ

議員がどういったところで自分に関係するかわからず、議員の方と接点もなかったため、イメージがわきませんでした。
今回の企画を通じて議員の役割を理解でき、また、直接お話ししたことで、身近で温かいイメージになりました。

●まちを元気にするために

小・中学校で「鶴ヶ島を良くするために」といったテーマで勉強するのはどうでしょうか。学校で勉強すると家庭などを通じて広く伝わると思います。

郷土のことをもっと掘り下げてアピールして欲しいです。つるごんを活用した伝統行事のPRなどができるとう面白いですね。

市議会は市民の声を直接聞きに出かけます！

編集 後記

コロナ禍で不安を感じることも多い中、子どもたちは私たちに明るい未来を感じさせてくれます。学校がお休みの土曜日の教室、そこには鶴つ子土曜塾で勉強に取り組む子どもたちの姿がありました。
真剣な眼差しで黙々と問題を解く子どもたち。その子どもたちを優しく見守り、支援する大学生の皆さん。コロナに負けない若い力が私たちに勇気をくれました。
未来の宝である子どもたちが夢と希望を持てる社会を創って行かなければと決意を新たにしました。
(小)

(議会報編集委員会)

委員長	大野 洋子
副委員長	出雲 敏太郎
委員	山中 基充
委員	小林 ひとみ
委員	太田 忠芳
委員	石塚 節子
委員	内野 嘉広
委員	持田 靖明